怒涛

題字
近藤禄郎氏

柏中柏高同窓会新聞
発行代表者
勝海　昭
印刷所
㈱柏崎インサツ

復旧、復興に向けて

同窓会会長　**勝海　昭**

天変地異とは言え七月十六日当地を襲った筆舌に尽くし難い恐怖、そして本震に引けを取らない余震により柏崎地域は壊滅的被害に遭遇した。

すっ飛んで、ひっくり返ったTVは見られず、むしろ市外の人が詳しい情報を持ち、不安はつのるばかり。インターネットにより米国からも安否の問い合わせ、やがて電話は通信不能に陥る。

翌日早朝に柏高に出向く。歴史を刻んだ校門脇の土蔵は、亀裂が入り斜めに倒れ始め倒壊は時間の問題、校内では休日のため生徒達の姿は無く、大勢の先生方が自分の家の事より、散乱して何処から手を付けたら良いか分からない悲惨な職員室、教室、廊下等を懸命に後片付け、一日も早く教育現場の再生を目指し、生徒達に対する暖かい心と姿がここに有りと実感する。

この先生方の教育に掛ける情熱に打たれ、在京の同級生からの問い合わせに対し、学校よりも現場の先生に激励と感謝を兼ねたお見舞いを要望する。その後各支部にも厚かましくお願いすることに展開した。窓口は教頭先生とし、先生方の意気が上がる何かに使って欲しいと伝える。

地震の影響は大きく、夏季の種々の行事が中断されるなか、三年生の志賀高原での勉強合宿は例年通り履行された。こんなときにもカンパを活用して頂き、同窓会員が後輩に対する指導に感謝していることを伝えて欲しいと。

資料室（相談室兼用）の先輩から寄贈された蔵書も分厚いガラス戸棚を突き破り散乱、何とか整理は出来たが、陥没した床は六ケ月経過して漸く工事が始まる状況である。

隣接する図書館の書架はジグザグに曲がり、本は床の上に五ケ月近く積み重ねられた状況で、やっと十二月半ばに書架が置かれる。教育現場の再建でさえ牛歩の如く捗らず、怒り心頭である。

一方、ボランティア活動に励む生徒も多く、なかでも吹奏楽部は、部員達の家が被災しているにも関わらず、市民に元気と勇気を与えようと自衛隊の音楽隊と合同演奏、落ち込んでいる時に癒しを授けようとする前向きの心にも感涙するものがあった。

人のために役立とうとする姿勢は、普段から外部に向けて積極的に演奏活動を行ってきたことから生まれたものであろう。

復興には、あらゆる面で時間と忍耐が必要である。

生徒玄関（上）、図書館（下）。地震直後の惨状。祝日で登校している生徒が少なかったことが不幸中の幸い。地震の時刻で止まった図書館の柱時計（中）

恩師猪俣孝先生も犠牲に
――中越沖地震

〝ペギラ〟の愛称で親しまれた猪俣先生、ご冥福をお祈りします。

猪俣孝元教諭(76)（中45）は、地震二日後の昨年七月十八日夜、東本町一の圓通寺本堂のがれきから発見。自宅から徒歩で外出中巻き込まれたもの。

猪俣先生は、新潟大学を経て六日町高から昭和四十四年に着任、二十二年間勤めて平成三年退職、ソフトテニス部顧問だった。母校の新大助教授となったが、全日本マスターズ陸上にしばしば出場しており、平成三年の大会（宮崎）では三〇〇m障害（60歳）で52秒64の日本新記録を出し、翌年柏崎体育団から「スポーツ栄誉賞」で表彰された。

父親の弥氏も、柏商で名物先生〝トンジ〟として知られ、また長男宏氏（高31）（長岡商高教諭）と合わせて、親子孫三代の体育教諭だった。

地面の下の災害復旧

柏崎市ガス水道局
下水道課
村山康成（高32）

下水道被害は最初わからない。それは、下水管が地面の下の施設だからである。ガスが噴出している、水が出ないといった電話が殺到する中で、下水道の状況がわからないという事実は恐怖であった。確かに言えるのは、これだけの大きさの地震なのだから無事なわけがないということと、中越地震の被災を大きく上回っているだろうということ。それも前回比較的傷の浅かった市街地で……。

間もなく全市の六割の汚水をまかなう幹線の破断が明らかになり、徹夜の復旧作業とバキューム作業に入った。元で止められる電気や水道と違い、下水道は止めることのできないライフラインである。トイレがあるからだ。だから復旧作業の初期段階ではバキューム作業が不可欠になる。死んでいる下水管のマンホールから汚水を汲み上げ、生きている管に流してやる。柏崎は集落排水を合わせると県内では下水道普及率の高い自治体である。被災している箇所も膨大ということになる。ピーク時には市内外から二十台以上の吸引車を集めて徹夜のバキューム作業を行った。

実は地震による下水道の被災は阪神淡路大震災で初めてクローズアップされた。道路や水道に比べ、下水道が「若い」公共施設だからである。しかも下水道が受け入れているのは、地下に染み出したり、地上に溢れたりすることの許されない汚水なのだ。通常時ならマンホールに汚水がたまることはないが、災害時にはマンホールだけが汚水をためておける唯一の余裕部分になる。われわれは他市の応援を仰ぎ、狂ったように全市のマンホールを開け始めた。そのうちに汚水が流れないという苦情の電話が届くようになる。職員とバキューム車をセットに、汲み上げの水際作戦が始まった。被害が下流部のお宅に集中するのも下水道の特徴だ。上流部では不都合がないのに、水のたまる下流部では、風呂やトイレに汚水が逆流することになる。

一ヶ月ほどかけて調査し、公共下水道と農業集落排水合わせて八十キロに及ぼうかという被災が明らかになった。汚水汲み上げのポンプを何百も入れて仮設配管を完了させた。被害の大きかった汚水処理施設も工夫してなんとか稼動を止めないで応急工事を一段落させた。問題はこれらの復旧工事である。地区によっては埋設してある下水道を全てやり直す必要がある。その設計と現場監理、そして工事業者の確保が最大の課題になる。現在は金沢市、燕市、三条市などから職員派遣の応援を得て復旧工事の発注に全力を挙げている。

中越地震の経験があるとは言え、年末まで不安で眠れないことがしばしばあった。果たして災害復旧をわれわれがやり遂げられるのか、という切迫感に現在でも悩まされる。一方で転居と宅地造成が激増し、問い合わせや来客も途絶えることがない。息もつく間もない。二十数年かかって整備した施設をわずか一年で復旧しようというのだから。

「負けない！　下水道魂」という紙がうちの課の壁には貼ってある。

事務局より重ねてお願い！

柏高同窓会会員の皆様、いつも何かと母校のためにご援助賜り感謝申し上げます。会員相互の親睦と母校の情報等を「怒涛」でお知らせするために、本同窓会は、何とか５年に一度の名簿発行を続けて参りました。個人情報については極力注意し配慮しているところでございます。今後もご協力くださいますようお願い申し上げます。つきましては、**住所変更、物故、問い合わせ等の連絡につきまして、正確を期すために電話連絡ではなく、郵送またはファックスでお知らせ下さいますようお願い申し上げます。その際には卒業期（運営費の振込用紙に、中○回、高○回と書いてあります）、内容（異動日なども）を必ずお書きください。**同姓同名のかたがおられますのでよろしくお願いいたします。

郵便 〒945-0065　新潟県柏崎市学校町４番１号　　**ＦＡＸ** 0257-21-2836

新潟県立柏崎高等学校同窓会事務局宛

柏中・柏高同窓会会長
勝海　昭（高8）
〒945-0063 柏崎市諏訪町十二―四
電話 ㉒二三一六

学校法人中延学園理事長
佐藤　早苗（高5）
〒140-8608 品川区西大井六―一―二三
電話 〇三(三七八四)二一三一

東京支部顧問
辯護士 **水嶋幸子**（高6）
事務所 東京都千代田区神田須田町２６２―702
〒101-0041 水嶋法律事務所
TEL 〇三―三二五八―〇〇五五
FAX 〇三―三二五八―九八六七

辯護士 **田中平八**（高1）
事務所 東京都港区新橋四丁目二九番六号
〒105-0004 寺田ビル四階四〇二号室
TEL〇三(三四三六)六五九五
FAX〇三(五四七二)四〇八七

東京税理士会顧問
税理士 **関本和幸**（中45）
税理士法人トップ会計事務所 会長
〒160-0023 東京都新宿区西新宿七丁目十八番十八号 新宿税理士ビル
電話 〇三(三三七一)七二一一～四番
FAX 〇三(三三六五)三七四七番

主体美術協会会員
阿部正彦（高8）
〒140-0001 東京都品川区北品川一丁目二十四の二十五
TEL (〇三)三四七一―四三一二

柏崎司法書士会々員
村山照家（中42）TEL 〇二五七―22―四二七二
中村八郎（高10）TEL 〇二五七―24―四五〇一
伊藤誉士勝（高14）TEL 〇二五七―22―二〇六三
今井元紀（高15）TEL 〇二五七―24―五五二〇
田辺信一（高17）TEL 〇二五七―23―七九四九
宮田知津子（高25）TEL 〇二五七―24―五五二二
江口淳（高30）TEL 〇二五七―20―〇四二八

栄光の“生き証人”消えた

99歳で天寿全うの中山さん

東京柏会事務局長　松浦孝義（高7回）

百周年記念刊行『回顧百年』の八十二ページには、「快挙 全国陸上二位」の項目がある。「大正期最後となる第二十二回（大正十五年三月卒、六十九名）は、柏崎中学運動部史上初の栄光の歴史をもたらした」ではじまる。

八十四年前の大正十四年、第二回全国中等学校対抗陸上競技会（9月26、27日、東京・駒場競技場）で全国二位となった活躍を紹介している。

その最後の“生き証人”中山清さん（中23回、刈羽村上高町）が、昨年九月一日に逝去された。輝かしい栄光の歴史を刻んだ唯一の生存者が、99歳の天寿を全うされたのだ。

この大会では、中山さんより一年上で、“天才スプリンター”の佐藤栄吉さん（中22回、栃尾出身）が、百m11秒7、二百m24秒0、ローハードル28秒2の三種目に堂々優勝、さらに武田剛さん（同、女谷出身）のハイハードル四着、中山さんの槍投げ三等を加え、総合得点25点を挙げた。

優勝は札幌・北海中の36点。北国の選手断然優勢で、一部は一、二回に優勝した奈良県郡山中学が三に蹴落され、北海中学が一等、柏崎が二等になり（9月28日付読売新聞）とある。

全国大会ではいつも、まだ三回、文字通り創成期、前年走り高跳びの優勝者は、坂口炳吾（豊出中、現日大豊山高。のち作家として現在再評価の著しい坂口安吾で、新潟中を放校され後、転入校での活躍だった。

もともとインターハイは、学校対抗であり、全国二位は大変な記録である。戦前の柏中は、昭和五年の二十二位4点（五千m で星野伊太郎＝中27回・後慶大、刈羽村大塚出身＝の三位、六年の十位11点、九年の十九位8点）くらい。戦後では二十七年の八位8点（ハンマー投げと円盤投げの飯塚祥人＝高5回・後東京教育大、表町出身＝の各三位、三十五年の十一位（走り高跳びの山崎国夫＝高13回・後東京教育大、刈羽村十日市出身＝優勝など）があるだけ。

その中山は、翌年の県下中等学校総力戦（学徒出陣）で、ここでも活躍した後教職に入った。昭和二十二年高柳の栃ヶ原小学校長から太田、鯨波、中通、鯖石の各小校長を歴任した。

“天才の佐藤栄吉の活躍は、『怒涛』35号（平成二年一月）に、生前の三宮勉さん（中25回）が詳しく紹介している。卒業後（黄金時代）といわれた早稲田大学に進み、昭和三年のイギリス遠征にも参加した。この帰路に、同行の織田幹雄は、アムステルダム五輪に出場、三段跳びで見事優勝して日本初の金メダル、日章旗をとげた。

（高7回、東京柏会事務局長）

二〇〇七年度の総会中止

中越沖地震のため

昨年8月4日に予定しておりました「柏中・柏高同窓会総会」は新潟県中越沖地震による被災状況を考慮し、中止されました。

前号の当会紙「怒涛」は地震直前の印刷であり、同総会実施のお知らせをそのままお届けすることになってしまいましたことをおわび申し上げます。

警視総監に矢代隆義氏（高20回）

同期48人も集まり東京柏会で励ます会

首都東京の警察を代表する警視総監に矢代隆義氏（57〈高20〉）が8月6日、警察庁交通局から起用されて就任した。

矢代氏は、高柳町門出出身門出小中、柏高を経て東京大学法学部卒業。1973年警察庁入り、広報室長、山口県警本部長、大阪府本部警務部長、埼玉県警本部長から2002年8月警察庁官房審議官（交通局担当）、04年9月から交通局長。

この間、警視庁交通部審議官、警察庁交通企画課長も勤めており、交通行政では同庁きってのベテラン。

同期生では、さる1月新潟産業大学学長就任の広川俊男、4月リコー㈱社長就任の近藤史朗両氏に継く朗報である。

東京柏会では11月9日夜、「矢代隆義さんを励ます会」を千代田区のグランドアーク半蔵門で開いた。

「86代目として就任してから3月が過ぎ、現職の責任の重さをひしひしと感じています」と柏高に入って上京、警察入りなどを回顧しながら、「校歌の『世は我が起つを待てるなり』を思い浮かべながら、わが国の治安の中枢にあって最大の努力をしたい」――11月9日夜開かれた「矢代隆義さんを励ます会」で、われらが警視総監は、いつものようにソフトな語り口でこう抱負を述べていた。

グランドアーク半蔵門での「励ます会」には、高20回の同期生が48人と、出席者のほぼ半数を占めた。地元から10数人、仙台から3人：9組435人のマンモス幸業生のうち、1組分が馳せ参じたわけだが、40年ぶりの対面組もあって、受付でオロオロの人続出。

司会は、テレビ番組のナレーターとして活躍中の声優堀井貴春さん（高28回）。東京柏会長の近藤健彦さん（高1回）が「私が入学した岡町小は、当時本当に山奥でしたが、総監はそれよりまだその奥で」と回顧しながら、同会を宣言。同窓会長の勝海昭さん（高8）は「総監就任は直ちに校の後輩たちに紹介されて、大きな刺激となりました」と反響を述べながら乾杯の発声だった。続いて柏崎市長の金田洋さん（高17）は、地震の復興支援の感謝と現状を述べた。

総監部と大学時代、会長道部だった縁もあって、太極拳の「白鶴の舞」が、柏崎出身の中野亮二さん（日本健康太極拳協会副理事）から披露され、お祝いに花を添えた。さらに総監の門出小在学時代の恩師神林照道さん（高7、前国立学園小学校長）、門出中時代の恩師紀子夫人が登壇、隆義がんばれや」と励ました。

この後、また現役として活躍しておられる女子徒第1号組の佐藤早苗さん（高5、中延学園理事長）と第2号組の水嶋幸子さん（高6、弁護士、前柏会副会長）が、そろって登壇し激励した。小林正明さん（定1、前長諮協会理事）から、『謙良節』が披露され、その色紙も贈られた。

最後には、同期生全員がそろって登壇、総監を囲んだ中で新潟産業大学長の広川俊男さんが、代表挨拶となった。「元気のいい人、すごい人、いずれこういうことになるとは思っていたが、就任は同期生として本当にうれしい。これだけ仲間が集まって、これからのパワーをもらえた」と力を込めて感想を述べた。

総監は、約5分間にわたり近況や感謝の挨拶をした。柏会副会長の西川孝純さん（高19年、共同通信社論説委員長）が「お互い大いにがんばろう」と閉会の挨拶、会田市長の発声で万歳三唱し締めくくられた。

東京柏会会報「とうこう」より

▲励ます会の模様

同窓生・会情報

お知らせ下さい

柏中・柏高同窓会紙「怒涛」では、同窓生の活躍・同窓会実施を記事に取り上げて参ります。同窓生の消息、出版等の情報がありましたらお知らせ下さい。また、同総会実施記事も写真付きで紹介したく存じます。どちらも一面に掲載の同窓会事務局宛に、郵便またはFAXでご連絡先明記の上お願いいたします。（電話での連絡はご遠慮下さい）

▲現在の南舎

▲改修後のイメージ

3年計画で母校改修

平成20年度からの3年間で、柏高校の校舎の大規模改修が行われる。

昭和54（1979）年から、翌年にかけて、大正時代の趣を感じさせる本造校舎から、現在の鉄筋校舎になったのが、校舎改築第1期工事。これから行われる改修は、現在の校舎が竣工して以来初めての大規模改修となる。

改修されるのは南舎（管理運営教室棟、つまり正門に面した本町通り側の校舎）。

平成20年度は南舎の東側（市役所側）、21年度は南舎の中央部分、22年度は西側（陸上競技場側）と、毎年三分の一ずつ長期休業中など」を中心に工事を進める。

教室棟北側を中心に耐震型の補強工事が行われ、南側中心の窓には鉄骨の筋交いが入る。

県立高校では築年数の長い校舎から計画的に改修が行われており、このたびの柏崎高校校舎大規模改修もその一環。それが偶然にも中越沖地震後の年と重なったものである。

校舎の形や外観には大幅な変更はない。バリアフリー設備として、生徒玄関付近に多目的トイレが設置される予定。

床の張り替えや壁の塗装など内装は全面的に新しくなり、明るい室内になる。

財団法人柏崎地域国際化協会
会長 曽田恒（高10）
〒945-0051 柏崎市東本町一-三-二四 市民プラザ2F

高桑内科医院
高桑正道（高18）
柏崎市比角一-二-三 TEL（21）二五五五

会田内科医院
会田恵（中41）
柏崎市東本町二

高島内科胃腸科
理事長 高島憲一郎（高13）
柏崎市扇町二-十三

尾崎歯科
尾崎章彦（高18）
柏崎市四谷二-一-四 電話㉔四三六八

矯正歯科・歯科・小児歯科
きたざわ歯科かみあわせ研究所
北澤智昭（高23）
柏崎市幸町一-七・TEL(22)二三二一

新潟医・歯学同窓会
会長 阿部春樹（高17）
幹事 植木智志（高45）

阿部歯科医院
阿部晴弘（高17）
柏崎市日吉町一-二

㈱会田写真館
スタッフ一同
柏崎市扇町一-一八 TEL二三-六二四八

株式会社 植木組
取締役会長 植木康之（高15）
取締役社長 植木義明（高23）
新潟県柏崎市新橋二番八号

現代学生コラムに柏高生が2人同時入選

東洋大学主催2007年度「現代学生コラム」自由題第Ⅲ期に全国高校から1068編の応募があった中、入選8編の中の2編を柏高3年の2人が占めた。

三井田さんの作品には「人々の助け合いの中で生きている喜びを素直に綴った作品」、吉田さんの作品には「制度の問題点を身近な兄妹喧嘩から見出した洞察力と鋭さ、論旨明快」との選考委員評があった。

入選作品

Hand in Hand

●三井田春奈

七月六日に地震は起こった。そしてこの夏、人と人との助け合いの大切さを改めて実感した。

地震が起きてからしばらくは、すれ違う車のほとんどが自衛隊の車だった。これから戦争が始まるのではないか、と思うくらい、近くの海浜公園には、たくさんの自衛隊の車が停まっていた。その自衛隊の人たちは、みんな優しく、笑顔で炊き出しを盛ってくれた。

そして、今年の夏も柏崎には、たくさんの県外ナンバーの車がやって来た。しかし、例年と違うのは、それらが海水浴客ではなく、復興支援のトラックだったことだ。「電気直りましたよ」と一軒一軒声をかけてくれたおじさんは、東北のなまりだった。私が朝、学校に行く時には、すでに至る所で工事の準備がされていて、夕方家に帰る時も、まだ働いていた。炎天下の中、道路を直したり、仮設住宅を建てくれている人を見ると、涙が出そうになった。ボランティアの方たちも全国から集まってくれて、助けてもらってばっかりいるな、と思った。その時初めて、「被災した時は助けてもらったので、少しでも力になれれば……」と言って、ボランティアに参加している人たちの気持ちが、心から理解できた。

隣の住人の顔を知らなかったり、インターネットやメールで何もかも出来る時代の中で、この地震は、助け合いの大切さと温かさを教えてくれた。名前も顔も知らない人たちの、たくさんの助けのおかげで、私たちは今、生きている。

今年、西オーストラリア州立美術館で開催の国際展に日本代表作品の一つとして出品展示される。

高校生国際美術展実行委員長賞受賞

作品海外へ

書道部2年坂口夏海さんの作品が、第8回高校生国際美術展実行委員長賞を受賞した。坂口さんの作品は泰楽部の活動が、毎週金曜日放送のNHK新潟放送局制作「きらっと新潟」2月1日放送分に取り上げられた。

坂口夏海「臨濯頂紀」

被災地を支える“心の歌”

NHK番組に出演

中越沖地震被災地の人々を勇気づける「ここの歌」KOKIAの「私にできること」は、地震を契機に生まれ、柏崎のローカルFM「FMピッカラ」で繰り返し流された。

この曲を演奏する柏高吹奏楽部の活動が、毎週金曜日放送のNHK新潟放送局制作「きらっと新潟」2月1日放送分に取り上げられた。

新聞記事感想コンクール読売新聞社賞、佳作受賞

教育現場に新聞を活用する「NIE」の「第十四回NIEコンクール」（新潟県NIE推進協議会主催）の審査が10月31日新潟日報社西堀事務所で行われ、柏崎高校3年の2人が受賞者に名を連ねた。

読売新聞社賞　星野杏菜子
佳作　宮嶋厚平

活躍する柏高生

感情に偏った判決

●吉田佐保

平成二十一年から裁判員制度が実施されることになった。裁判員制度導入の利点は市民の司法参加、裁判所の判断の正当性を強めることにある。だが模擬裁判が行われると様々な問題が浮き彫りになった。どの問題にも共通しているのは裁判員の知識の不足である。

私はよく兄と喧嘩をする。些細なことで言い争いになるのだが私は兄に勝てたことがない。なぜなら兄は持っている知識を並べて私を負かすからだ。私は兄の言葉に言い返すことができず、思わず手を出してしまい喧嘩に発展する。知識が足りないと人間は感情的になりやすい。

裁判員制度実施でも同じことが言えると考える。そうなれば裁判員である市民と裁判官の判断が異なるのは目に見える。実際に近年行われた調査では、少年が犯した罪に対して裁判官は罪を軽くする意見が多かった。裁判官は重刑を求めていた。少年による凶悪事件が相次いでいることが背景にあると考えられるが、大半は感情的になっているだけである。この状態で裁判員制度が行われるとなれば裁判員六人、裁判官三人による多数決裁決により感情的な判断で有罪無罪が決まってしまうそれでは良くない。

感情に偏った判決を阻止するためには、知識を足して解決しなければならない。そのためには義務教育の課程に裁判員制度の知識を身につける教育を取り入れる べきである。これにより誰もが最低限の知識を身につけることができ、偏った判決を減らすことができると考える。

運営費納入のお願い

運営費の会計年度は、7月から翌年の6月までです。

納入は、郵便局・コンビニのどちらでもご利用になれます。

今年度、すでに会費納入済みの方には、再度の納付書封はいたしません。今回の納付書送付と行き違いで納入された場合はご容赦下さい。

同窓会活動の円滑な運営のため、今後とも協力をお願いいたします。

平成19年度会費納入状況

旧職員	入金件数	入金額		入金件数	入金額
	18	36,000	高17回（昭和40年3月卒業）	28	56,000
（旧第中学校）			高18回（昭和41年3月卒業）	39	78,000
中22回（大正15年3月卒業）	1	2,000	高19回（昭和42年3月卒業）	14	28,000
中23回（昭和2年3月卒業）	0	0	高20回（昭和43年3月卒業）	30	60,000
中24回（昭和3年3月卒業）	2	4,000	高21回（昭和44年3月卒業）	20	40,000
中25回（昭和4年3月卒業）	0	0	高22回（昭和45年3月卒業）	22	44,000
中26回（昭和5年3月卒業）	0	0	高23回（昭和46年3月卒業）	17	34,000
中27回（昭和6年3月卒業）	1	2,000	高24回（昭和47年3月卒業）	17	34,000
中28回（昭和7年3月卒業）	0	0	高25回（昭和48年3月卒業）	11	22,000
中29回（昭和8年3月卒業）	3	6,000	高26回（昭和49年3月卒業）	20	40,000
中30回（昭和9年3月卒業）	1	2,000	高27回（昭和50年3月卒業）	29	58,000
中31回（昭和10年3月卒業）	2	4,000	高28回（昭和51年3月卒業）	15	30,000
中32回（昭和11年3月卒業）	0	0	高29回（昭和52年3月卒業）	12	24,000
中33回（昭和12年3月卒業）	0	0	高30回（昭和53年3月卒業）	24	48,000
中34回（昭和13年3月卒業）	3	6,000	高31回（昭和54年3月卒業）	17	34,000
中35回（昭和14年3月卒業）	6	12,000	高32回（昭和55年3月卒業）	5	10,000
中36回（昭和15年3月卒業）	4	8,000	高33回（昭和56年3月卒業）	11	22,000
中37回（昭和16年3月卒業）	5	10,000	高34回（昭和57年3月卒業）	8	16,000
中38回（昭和17年3月卒業）	4	8,000	高35回（昭和58年3月卒業）	12	24,000
中39回（昭和18年3月卒業）	4	8,000	高36回（昭和59年3月卒業）	10	20,000
中40回（昭和19年3月卒業）	11	22,000	高37回（昭和60年3月卒業）	7	14,000
中41回（昭和20年3月卒業）	7	14,000	高38回（昭和61年3月卒業）	8	16,000
中42回（昭和20年3月卒業）	18	36,000	高39回（昭和62年3月卒業）	7	14,000
中43回（昭和21年3月卒業）	4	8,000	高40回（昭和63年3月卒業）	6	12,000
中44回（昭和22年3月卒業）	19	38,000	高41回（平成元年3月卒業）	2	4,000
中45回（昭和23年3月卒業）	9	18,000	高42回（平成2年3月卒業）	3	6,000
中46回（昭和24年3月卒業）	4	8,000	高43回（平成3年3月卒業）	10	20,000
（高等学校）			高44回（平成4年3月卒業）	5	10,000
高1回（昭和24年3月卒業）	6	12,000	高45回（平成5年3月卒業）	4	8,000
高2回（昭和25年3月卒業）	17	34,000	高46回（平成6年3月卒業）	6	12,000
高3回（昭和26年3月卒業）	22	44,000	高47回（平成7年3月卒業）	8	16,000
高4回（昭和27年3月卒業）	29	58,000	高48回（平成8年3月卒業）	4	8,000
高5回（昭和28年3月卒業）	21	42,000	高49回（平成9年3月卒業）	3	6,000
高6回（昭和29年3月卒業）	36	72,000	高50回（平成10年3月卒業）	6	12,000
高7回（昭和30年3月卒業）	27	54,000	高51回（平成11年3月卒業）	3	6,000
高8回（昭和31年3月卒業）	33	66,000	高52回（平成12年3月卒業）	4	8,000
高9回（昭和32年3月卒業）	31	62,000	高53回（平成13年3月卒業）	10	20,000
高10回（昭和33年3月卒業）	20	40,000	高54回（平成14年3月卒業）	7	14,000
高11回（昭和34年3月卒業）	31	62,000	高55回（平成15年3月卒業）	3	6,000
高12回（昭和35年3月卒業）	26	52,000	高56回（平成16年3月卒業）	7	14,000
高13回（昭和36年3月卒業）	34	68,000	高57回（平成17年3月卒業）	14	28,000
高14回（昭和37年3月卒業）	26	52,000	高58回（平成18年3月卒業）	11	22,000
高15回（昭和38年3月卒業）	12	24,000	高59回（平成19年3月卒業）	35	70,000
高16回（昭和39年3月卒業）	23	46,000	合計	1,054	2,108,000

※運営費は当会紙「怒涛」発行及び発送・名簿管理・同窓会入会式及び総会等運営に使われます。今年度地震被害もあり同窓会会計が逼迫しております。同窓の皆様の納入ご協力をお願いします。

編集後記

▼中越沖地震のとき柏高の南北の校舎をつなぐ渡り廊下が構造上のつなぎ目ですれ、そのずれ目から空が見えた。悲惨な被害のさなかに見えた不釣り合いにあっけらかんと青い夏空に強烈な印象がある▼市下水道課の村山さんが「友人のミニコミ誌に、懸命の復旧作業中、汚水を泳ぎ出しても汲み出しても水が減らず水位が戻る瞬間の無力感を書いている。職員は体を張って救援活動をしている現地の行政を、ワイドショーで有名キャスターが非難する理不尽、理不尽でも被災者からの怒鳴り声の電話に怒たりいらついたりする気にならないのは相手の気持ちが分かるからだ▼ノブレス・オブリージェという言葉がある。権力や財産がある者には自発的な無私の行為が求められるという考え方だ。被害がひどいほど復旧の現場では持てる者も持たざる者も職域を超えた無私の振る舞いを。を▼校門脇の土蔵は秋に取り壊され更地に。渡り廊下は地震後プルーシートで覆われ、冬に補修工事が始まった。図書館は書架を総入れ替えし、人の手で一冊一冊蔵書を戻す▼大変な年に受験期を過ごし、この春同窓会の仲間入りをする240人の新会員には、困難に見合った前途の希望があると信じる。新会員諸氏の、その聡明さも、権力や財産に劣らない「持てる」ものに違いない。それを自分だけのためではなく使う生き方をしてほしいと願う。同窓会は後輩諸氏を心から応援している。

おこめの十一屋
阿部健一（高3）
阿部健志（高34）
柏崎市四谷二丁目四-四四

㈱新野屋
新野京一（高22）
柏崎市駅前一-五-十四 TEL㉒二三三七

原酒造㈱
原吉隆（高28）
柏崎市新橋五-十二

辯護士 高橋巽（高15）
事務所 〒951-8141 新潟市関新二丁目一番七三号 新潟ダイカンプラザ遊学館九〇八号 TEL〇二五-二三三-七七〇〇 FAX〇二五-二三三-七七〇〇

高鳥技術士事務所
CSP労働安全コンサルタント
高鳥勉（中4）
〒949-3101 柏崎市橋場町一-四-三〇 TEL〇〇二五七二四一-四二三三 FAX〇〇二五七二四一-四二三三

株式会社 酒井鉄工所
代表取締役 酒井好道（高13）
常務取締役 酒井好男（高16）
柏崎市田塚三丁目一番六〇号

柏崎日報社
代表取締役 山田明彦（高18）

郷土のより越後タイムス㈱
編集発行人 柴野毅実（高22）
TEL㉔六三九六 FAX㉔〇一〇八

佐藤塗料株式会社
取締役社長 佐藤裕幸（高20）
取締役会長 佐藤信義（中39）
柏崎市駅前二丁目一番四三号

「IT で創る 元気・安心・感動・便利」
㈱柏崎情報開発センター
代表取締役社長 小林昭義（高14）

各部活動の足跡

国際展へ　書道部
北信越大会で活躍
陸上部・水球部・空手道同好会

〈野球部〉
○選手権大会
二回戦
柏崎8―10新発田農業
○秋季地区大会
二回戦
柏崎5―4糸魚川（9回サヨナラ）
代表決定戦
柏崎3―2高田北城
○秋季県大会
一回戦
柏崎1―2新潟工業（延長10回）

〈陸上競技部〉
◆男子
○国体予選
棒高跳2位　猪浦　直人
○県選手権
八百m3位　柳澤　崇宏
○北陸選手権
八百m2位　柳澤　崇宏
○秋季上越地区大会
百m5位　小甲　秀樹
四百m5位　岩下　和生
百十mH1位多田　拓弥
6位飯塚　和斗
四百mH8位岩下　和生
四×百mR4位
澤田・小甲・多田・駒村
四×四百mR6位
多田・澤田・駒村・岩下
走高跳1位　笹尾　渉
6位　木戸　勇也
走幅跳3位　小田　哲也
砲丸投3位　内山　史基
円盤投8位　内山　史基
八種競技1位品田　昌希
2位笹尾　渉
総合4位
○県選抜大会
百十mH7位多田　拓弥
砲丸投5位　内山　史基
八種競技1位笹尾　渉
2位品田　昌希
○北信越新人大会
八種競技4位笹尾　渉
◆女子
○国体予選
四百mH4位佐藤　阿子
○県選手権
四百mH3位佐藤　阿子
○北陸選手権
四百mH4位佐藤　阿子
○秋季上越地区大会
四百m2位　佐藤　阿子
4位　望月みなみ
千五百m6位池嶋　美佳
三千m3位　池嶋　美佳
四百mH1位佐藤　阿子
四×百mR4位
中森・佐藤・金塚・望月
四×四百mR4位
中森・望月・佐藤・金塚
やり投げ4位関本　有沙
5位金塚　玉絵
○県選抜大会
四百mH4位佐藤　阿子
○北信越新人大会
四百mR8位佐藤　阿子

〈水泳部・競泳〉
◆男子
○上越地区大会
百m背泳ぎ
2位　外山　英俊
二百m背泳ぎ
2位　外山　英俊
総合5位
○県総合体育大会
百m背泳ぎ　外山　英俊
二百m背泳ぎ外山　英俊
○県秋季体育大会
百m背泳ぎ
7位　外山　英俊

〈水泳部・水球〉
◆男子
○北信越春季大会
柏崎3―22金沢市立工業
柏崎5―18富山北部
柏崎5―6県選抜
柏崎25―2長野水球クラブ
第4位
○県総合体育大会
柏崎2―6柏崎工業
第2位
○北信越大会
柏崎7―7柏崎工業
柏崎0―27金沢市立工業
柏崎0―19富山北部
柏崎19―1長野工業
第4位
○北信越国民体育大会
新潟県　第3位
選抜選手　長田　純平
柳　貴洋
牧口　航平
中村　新司
須藤　篤
加藤　大希
◆女子
○JOCジュニアオリンピックカップ夏季大会
柏崎アクアクラブ
選手　池田　泰子
阿部　沙織

〈バスケットボール部〉
◆男子
○柏崎選手権大会
柏崎70―54柏崎翔洋
柏崎61―79柏崎工業
柏崎78―46産大附属
柏崎100―75柏崎総合
柏崎110―41久比岐
柏崎65―61柏崎常盤
2位
○ウィンターカップ
一回戦
柏崎56―71新潟江南
○秋季地区大会
二回戦
柏崎105―87糸魚川白嶺
ブロック決勝
柏崎65―103高田
二位リーグ
柏崎68―72柏崎常盤
柏崎79―82柏崎翔洋
柏崎61―100直江津
8位
○第36回BSN杯
一回戦
柏崎71―78十日町
◆女子
○柏崎選手権大会
柏崎118―38柏崎翔洋
柏崎69―46産大附属
柏崎74―53柏崎常盤
柏崎80―52柏崎総合
優勝
○ウィンターカップ
一回戦
柏崎44―93新潟中央
○秋季地区大会
二回戦
柏崎80―39高田農業
ブロック決勝
柏崎74―45直江津
決勝リーグ
柏崎52―74糸魚川
柏崎75―83高田北城
3位
○第36回BSN杯
二回戦
柏崎152―10　沢商工
三回戦
柏崎91―55直江津
四回戦
柏崎63―78村上桜ヶ丘
ベスト16

〈バレーボール部〉
◆男子
○秋季地区大会
柏崎2―0糸魚川白嶺
柏崎2―0高田
柏崎2―0糸魚川
柏崎2―0関根学園
柏崎0―2上越総合技術
準優勝
○1・2年生県大会
柏崎2―0高志
柏崎0―2新潟北
○選抜地区大会
柏崎2―0新井
柏崎2―0高田北城
県大会へ
○選抜県大会
柏崎0―2長岡工業
◆女子
○秋季地区大会
柏崎2―0関根学園
柏崎0―2高田商業
柏崎1―2有恒
○選抜地区大会
柏崎1―2柏崎常盤
柏崎2―1新井
柏崎0―2糸魚川

〈ハンドボール部〉
◆男子
○クボセイ杯
柏崎19―20チーム三条
一回戦敗退
○秋季県大会
予選リーグ
柏崎24―25新潟江南
柏崎15―25柏崎工業
5位決定戦
柏崎29―24巻
○新潟日報杯
柏崎30―23長岡高専
柏崎21―32HBC新潟
二回戦敗退
◆女子
○新潟日報杯
柏崎・新潟江南合同12―20巻
一回戦敗退

〈サッカー部〉
○全国高校サッカー選手権大会新潟県大会
二回戦
柏崎5―1三条東
三回戦
柏崎2―0加茂
四回戦
柏崎0―7北越
ベスト16
○秋季地区大会
一回戦
柏崎4―0柏崎工業
二回戦
柏崎0―6上越総合技術

〈ソフトテニス部〉
◆男子
○秋季地区大会
個人戦
ベスト8（三井田・大図　幹・拓哉）
ベスト16（田中・池嶋　智大・諒）
◆女子
○秋季地区大会
個人戦
2位（金子・猪俣　愛・佳野）
3位（松井・新田　理奈・未来）
ベスト16（大田・小山　希・遥）
団体戦3位
○新人選抜大会
ベスト32（松井・新田　理奈・未来）（金子・猪俣　愛・佳野）
○インドア県大会
柏崎0―2巻

〈硬式テニス部〉
◆男子
○新人大会
シングルス
ベスト16　古屋　真
ダブルス
ベスト16　串田・笹川　棚岡・滝澤
○選抜一次予選
団体戦
一回戦
柏崎2―3小千谷
○秋季地区大会
シングルス
ベスト16　古屋　真
ダブルス
ベスト32　串田・棚岡　滝澤　智祐・航　恵太
○県選手権大会
シングルス
一回戦　古屋　真　串田　智祐
◆女子
○新人大会
シングルス
ベスト16　三井田・甲田　甲田　亜矢
ダブルス
ベスト8　三井田・甲田　佐藤・村田
○選抜一次予選
団体戦
一回戦
柏崎2―3六日町
○秋季地区大会
シングルス
ベスト16　三井田美紀　甲田　亜矢
ダブルス
ベスト8　佐藤・村田
○県選手権大会
シングルス
一回戦　三井田美紀　甲田　亜矢
ダブルス
一回戦　佐藤・村田

〈バドミントン部〉
◆男子
○秋季地区大会
1年生シングルス
ベスト32　小林　雅和　井上　大智
◆女子
○秋季地区大会
ダブルス
ベスト32　前澤・内藤　安中・平野
シングルス
ベスト16　前澤　慶子
ベスト32　内藤　華奈　平野　岬
1年生シングルス
ベスト16　畠　実佳子

〈卓球部〉
◆男子
○県一年生大会
シングルス
ベスト8　加藤　巧
○秋季地区大会
学校対抗5位
シングルス
ベスト16　加藤　巧
ベスト32　笹川　集
○県選抜大会
学校対抗ベスト16
◆女子
○秋季地区大会
学校対抗5位
シングルス
ベスト16　中村　麻美　柳　杏奈
ベスト32　大　友里子　本田　遥香
○県選抜大会
学校対抗ベスト16

〈体操部〉
○秋季地区大会
新体操　女子個人出場

〈剣道部〉
○秋季地区大会
男子個人戦出場
○BSN大会
男子個人戦出場

〈柔道部〉
○春季上越地区大会
60kg級男子
3位　坂田光世至
57kg級女子
3位　坂田光世至
○秋季上越地区大会
60kg級男子
3位　坂田光世至
57kg級女子
2位　行田　桜子
3位　行田　桜子

〈空手道同好会〉
○秋季地区大会
女子個人組手
優勝　田中　菜水
女子個人形
3位　田中　菜水
○全国選抜大会県予選会
女子個人組手
3位　田中　菜水
○北信越新人大会
女子個人組手
ベスト8　田中　菜水
○国民体育大会出場
少年女子形　杉田　萌乃

〈美術・工芸部〉
○全国高等学校総合文化祭
島根大会出場
早川まどか・前川緑
○第29回高校美術工芸・書道展出品
○県高文祭出品

〈書道部〉
○第16回国際高校生選抜書展
準大賞　坪井友梨恵
○高文連総文祭出品
坂口　夏海・坪井友梨恵・和田真理子
○第8回高校生国際美術展審査員実行委員長賞
坂口　夏海

〈吹奏楽部〉
○第48回新潟県吹奏楽コンクール高校Bの部　銀賞
○第31回新潟県アンサンブルコンテスト
金管八重奏　銀賞
サックス四重奏　銀賞
○第20回新潟県高等学校アンサンブルフェスティバル
木管五重奏出場
打楽器三重奏出場
○松風の里訪問演奏会
○赤坂山デイサービスセンター訪問演奏会
松風の里を訪問した際のことが「柏崎日報」に掲載され、赤坂山での演奏はNHKの取材を受けました。3月には定期演奏会（3月29日産文）を企画しています。

〈演劇部〉
○上越地区演劇発表会
優秀賞
○県演劇発表会
優良賞
○柏崎演劇フェスティバル参加

〈文芸部〉
○全国高等学校総合文化祭
島根大会出場　根津瑞枝

文芸部 全国高総文祭にて

〈英語部〉
○新潟県スピーチコンテスト
3位　遠山　未来
○ことばのひびき　詩の朗読会出場
佐久間琴子
田村みのり
石川　裕紀
皆川　翔子

㈱ライブ商事　新車・中古車販売・整備
代表取締役　品田　優（高16）
柏崎市小金町十一番六七号

㈱環境整備設計
取締役　梅津東彦（高8）
〒323-0017
栃木県小山市飯塚一八〇三番地一
TEL〇二八五―二二―三三一一
FAX〇二八五―二二―三三一三

㈲福島アスコン
会長　内藤健二（高8）
〒969-1403
福島県安達郡安達町渋川戈の神50
TEL〇二四三―五四―二一三四

東京柏会副会長
辯護士　今井健子（高13）
〒116-0013
東京都荒川区西日暮里二丁目二五番一―804号
ステーションガーデンタワー
TEL〇三―三八九一―七五一五
FAX〇三―三八九一―五三三三

本間正樹税理士事務所
税理士　本間正樹（高29）
東京都北区中里一―六―五
第一駒信ビル6階
TEL〇三―五八一五―四六一一
FAX〇三―五八一五―四六一二

全国同窓会名簿作製
同窓会アドバイザー
株式会社サラト
本社　〒六七〇―〇九四八　兵庫県姫路市北条宮の町一七二番地
TEL（〇七九二）二八四―一三八〇
東京支社　〒一〇一―〇〇二一　東京都千代田区外神田五―一一―三
JR神田ビル6F
TEL（〇三）三八三二―六三八一

○同窓会本部　会長　勝海　昭（高8）
連絡先　柏崎市学校町四―一
〒九四五　柏崎高等学校同窓会事務局
―〇〇六五　TEL（〇二五七）二二―四一九五
FAX（〇二五七）二一―二八三六

○東京柏会　会長　近藤健彦（高12）
連絡先　東京都豊島区池袋二―四七―三
〒一七一　キウイレイコンビル3F
―〇〇一四　東京テレマーケティング
FAX（〇三）五九五六―八五〇七

○関西柏会　会長　村田仙二（高11）
連絡先　京都市左京区岩倉大鷲町二一―五
〒六〇六　山崎学方気付
―〇〇〇一　TEL（〇七五）七二四―三三八六

○新潟柏会　会長　室賀美津雄（高8）
連絡先　新潟市五十嵐二の町八三二七―一
〒九五〇　伊部悦雄（高11）
―二〇〇二　TEL（〇二五―二六三―一七三三）